

「後期高齢者医療制度」のお知らせ

Vol.4 お医者さんの上手なかかり方（その1）

お医者さんにかかるとき、ちょっとした誤解や思い込みで治療が長引くことがあります。

医療機関の受診や、薬局での薬の調剤の際には、以下のことに留意しましょう。

「かかりつけ医」を持ちましょう

「かかりつけ医」とは、病歴や健康状態などを把握して健康管理全般のアドバイスをしてくれるお医者さんのことです。

日常的な診療や健康管理は、かかりつけのお医者さんに相談しましょう。

普段から健康状態を診てもらい、高度な治療や精密検査が必要であるとお医者さんが判断した場合には、紹介状を書いてもらい、専門の大きな病院を受診するようにしましょう。

【ご注意ください】

大きな病院では、初診の場合、紹介状がないと特別料金が発生する場合があります。

分からないことはお医者さんや薬剤師さんに確認しましょう

受診の疑問や不安があるときは、相談・質問し、不安を解消した上で治療にのぞみましょう。また、同様にお医者さんや薬剤師さんの質問にも隠さず答えることも重要です。

お医者さんの指示は守りましょう

ご自身の判断で、処方された薬を飲まなかったり、薬の量を加減したりするのはやめましょう。

薬が余っているときは、お医者さんや薬剤師さんに相談しましょう。



後期高齢者医療制度に関する問い合わせ先 住民福祉課福祉保険班 TEL 64-1471

民生委員・児童委員に異動がありました。

民生委員・児童委員に鈴木キヌ子さん（下関）と今幸子さん（金丸）が厚生労働大臣から委嘱されました。下関地区と金丸・ハッロ地区の担当は右記のとおりとなります。

民生委員・児童委員は、地域福祉の向上のために厚生労働大臣から委嘱された「民間の奉仕者」です。生活に関することや子どものことなどでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。秘密は固く守られます。

担当地区	氏名
下関（上地区）	鈴木キヌ子
下関（中地区）	鈴木 久子
下関（下地区）	佐藤袈裟之
金丸・ハッロ	今 幸子

*任期はいずれも平成28年11月30日まで。敬称略。

議会の動き

臨時議会

8月3日

村議会議員の改選後はじめての臨時村議会が開かれました。正副議長、各常任委員会委員など議会の構成が決定したほか、選挙管理委員の選挙が行われ、次のとおり決定しました。

議会の構成

■正副議長

▽議長……………近 良平
▽副議長……………平田 広

■各常任委員会委員

― 総務厚生常任委員会 ―

▽委員長……………伝 信男
▽副委員長……………高橋 正之
▽委員……………鈴木万寿夫
高橋 忠夫
近 良平

― 産業建設常任委員会 ―

▽委員長……………菅原 修
▽副委員長……………伊藤 敏哉
▽委員……………小澤 仁
加藤 和泰

― 議会運営委員会 ―

▽委員長……………伝 信男
▽副委員長……………菅原 修
▽委員……………伊藤 敏哉
高橋 忠夫
平田 広

― 広報対策特別委員会 ―

▽委員長……………鈴木万寿夫
▽副委員長……………小澤 仁
▽委員……………加藤 和泰
高橋 正之
菅原 修
伝 信男

― 監査委員の選任 ―

▽監査委員……………平田 広

選挙管理委員

▽委員……………伊藤 敏
近 祐治
須貝 勉
高橋 かな江

9月21日(月)～9月30日(水)

秋の全国交通安全運動

～夕暮れはゆとりの心と早めのライト～

秋口における日没時間の急激な早まりとともに、例年夕暮れ時や夜間には重大事故につながる事故が多発し、歩行中・自転車乗用中の死亡事故が増加することなどから、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

運動の重点

- ①子どもと高齢者の交通事故防止
- ②夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ③すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④飲酒運転の根絶
- ⑤横断歩行者の保護

9月30日(水)は「交通事故死ゼロを目指す日」

一人ひとりが、交通ルールを守り、交通マナーを実践するなど交通事故に注意して行動することによって、交通事故を無くしましょう。



飲酒運転と疲労運転による事故防止を呼びかけ

夏の交通事故防止運動に合わせて、7月25日、川口橋のチェーン着脱所に交通安全指導所が設けられました。指導所には、村上地区交通安全協会関川支部・トキちゃんクラブ・村の交通安全指導員・村上警察署など約30人が参加。

指導所では、「交通安全親子でニコニコ!」と題し、関川産の大小の玉ねぎで啓発物品をつくり、チラシと合わせて手渡しました。参加者は、



「玉ねぎで泣いても事故で泣かないように安全運転に心がけてください」と交通事故防止を呼びかけました。これから行楽シーズンを迎えますが、ドライバーも歩行者も交通事故をおこさないよう、遭わないよう、交通安全を心掛けましょう。